



学校だより 第1号
令和8年 4月
富山市立豊田小学校

学習指導要領

校長 吉野 哲

4月9日（木）に新1年生143名を迎え、全校児童770名で令和8年度の豊田小学校がスタートしました。保護者、地域の皆様には、日頃よりご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、校長の吉野と申します。二年目になりました。子供たちの明るく元気な表情から、充実した一年間にしたいという思いを感じました。豊田っ子の豊かな学びや健やかな成長のために、尽力してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

本校の学校教育目標は「仲間と学び 心豊かに 生き生きと生活する子供の育成」です。この学校教育目標の基、様々な教育活動を展開いたします。子供の明るい声が響き、笑顔あふれる学校にしたいと考えております。

さて、学校の教育活動の基準として「学習指導要領」があります。文部科学省が作成した学習指導要領リーフレットには、次のようなことが明記されています。

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、
明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、
自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、
それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていききたい。

学習指導要領には、このような強い願いが込められているのです。学力についての考え方としては、学習内容を記憶する「知識としての学力」だけでなく、自ら問題を見付け、解決方法を考え、学級の仲間と協力しながら納得のいく解決を目指す中で子供が獲得していく「生きて働く学力」が重要になってきます。

具体的には「学びに向かう力、人間性」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」の三つの力をバランスよく育むことが大切だと言われています。つまり、「何を学ぶのか」だけでなく、「どのように学ぶのか」「学んだことをどう生かすのか」ということが重要となるのです。

昨年度4月の学校だよりで私は、「学校は社会の入口」だと述べました。社会に出て通用する力の大切さを、お伝えしたと思っています。これからの予測困難な時代を力強く生きていくために必要な力を学校の教育活動を通して、子供たちが身に付けることができるようにしていきたいと思います。そして、全ての豊田っ子がそれぞれに思い描く幸せを実現してくれることを期待しています。